

新小委 長塚の!!

東京新聞一日記者体験

今回、二学期中間試験直前
の10月19日(木)、公欠で学校
を休み、中日新聞東京本社に
おける一日取材体験記者とし
てNHK放送センターを訪れ
た。この日、関東圏の各高校
から総勢20名が、一日記者を
体験した。今回の企画のメイ
ンイベントは、「社内見学」と
「取材体験」の2つであった。
取材体験は本来ならば、4
ヶ所の異なる場所があった。
警視庁、證券取引所、国会・
首相官邸、そしてNHK放送
センターである。オウム事件
に関して大きく取り上げられ
ていた時期、警視庁へ行き
たい気持ちがあった。しかし、行
き先を選ばないというのだ。
これには、出鼻をくじかれた
ごとく残念であった。
東京新聞には有難いことに
二度も写真が載せられた。一
度は目録の抱負。二度目
はその感想である。二度目の
時の写真で「本社制作部を見
学」と記されていたが、あの
制作部は特に見学した覚えが
なく、新聞に載せるための写
真をつくらされたのだと思わ
れた。

1. 日記者の体験記

第四十八回新聞週間
ちなんだ東京新聞主催の
「一日記者」が十九日実
施され、関東一都六県の
高校生十八人が本社見学
後、各方面で取材体験を
した。東京二十三区から
は都立大泉高校二年の長
塚敏弘君(む)が渋谷区神
南二のNHK放送センタ
ーを取材。体験記を寄せ
てもらった。

僕は、今年で放送開始七
十周年を迎えたNHKへ取
材に行った。普段何気なく
見ているテレビが、いった
いどのくらい多くの人々に
よってつくりだされているか
を、この目で確かめてみた
かった。

まずスタジオを見学。来
抱いていたニュースセンタ
ーには入れなかった。九州
ドラマ「秀吉」の第一話の
収録中、大仁田厚と斎藤



大泉高2年 長塚敏弘

記者になりたいという
気持ちが強くなった

臨時番組に変更してセ
ンターが大忙しになってし
まったからだが、期待して
いただけに残念だった。
「広報室次長との懇談では
いろいろ質問しようと思っ
ていたが、ほかの一日記者
の積極性に押されて不十分
だった。悔が残る結果に
なったが、そういう厳し
さも貴重な体験として心に
刻んでおこうと思う。」

東京新聞での懇談では、
局長さんが「新聞はニュー
スを一度に見られる多面性
という点でテレビやパソコ
ンに勝る」と語っていた。
まさにその通りだ、とな
る。今度の一日記者体験は、
将来について迷っている僕
に「記者になってみたい」
という気持ちを強く起こさ
せる有意義なものだった。

北京から

交換留学生陳さん来日



陳さんは北京に交換留学生
として行った一年六組の根本
加奈子さんの家に滞在し、こ
の学校で数日間学校生活を送
った。北京英文高校からの留
学生です。一年六組の人たち
とは英語を使って会話をしま
した。

日本に来て富士山に登りた
いと思ったということです。
新聞小委員会では陳さんに依
頼して英語で自己紹介と日本
での授業の体験談などを書い
てもらいました。

英文は簡単なのですが、念
のため、わからない人のため
に日本語訳をつけました。
訳の校正は英語科の児島真
行先生にお願いしました。F
陳怡さん

I am a chinese student. I come from Beijing Huiwen High School. I'm in senior Grade Two. I'm 17. At ordinary times, I like sports. In my class, I am the sports team leader. I like basketball very much. I also play table tennis, volleyball, football and so on. I live in a common family with my father and my mother. So it is a good chance to go to Japan for me.

The time, there are ten people going to Japan from our school, two teachers and eight students. We live and study in Japan for two weeks, in order to understand Japanese daily life, Japanese civilization.

In this two weeks, I live in 根本加奈子'S home. Her parents are very kind, I live with them just like I live in my family.

During these days, I have been to Tokyo Tower which is 333 meters high. In the tower I can see the whole of Tokyo, and I can see the Mountain Fuji, it is very beautiful. I have been to Tokyo Disneyland and have had a good time. I have been to Kyoto for two days. In Kyoto I went Kiyomizu Temple, SANJUSANGENDO, Ninomaru Palace. I have been to the monument of Premier Zhou. I have seen lots of red leaves. I understand some history of Japanese more than before.

I have been this school for several days. I really enjoy it. Teachers and students in this school are all very friendly. Teachers teach me and students study and play with me together. I think the subjects in this school are a little different from our school's. At ordinary times, our school study more knowledge, this school do more practices. The P.E class is not as hard as ours. And English class dose not pay attention to oral work. And students have less home work and more free time after school. I like having more free time after school, then I can do more things that I like.

Sometimes, I can not believe that I am abroad. Because there are so many same things between China and Japan. For example, we are all Asian, have the same yellow skin, black hair and black eyes. We all eat rice using chopsticks. Japanese has lots of Chinese characters. Japan is very near China. So Chinese and Japanese are friends, Tokyo and Beijing are friends, China and Japan are friends forever!

Chen Yi
Beijing Huiwen High School

私は中国人の生徒です。私は北京Huiwen高校から来ました。私は1年上級の2年生です。私は17歳です。いつも私はスポーツが好きです。私のクラスではスポーツチームのリーダーをしています。私はバスケットボールがとても好きです。私はまた、卓球、バレーボール、フットボールなどもします。私は父と母のいる普通の家庭に住んでいます。私にとって日本へ行くことはすばらしい機会です。

今回、私達の学校から日本へ行くのは10人で、2人の先生と8人の生徒でした。私達は日本の日常生活と日本の文化を理解するために日本で2週間暮らして勉強しました。

この2週間、私は根本加奈子さんの家で暮らしました。彼女の両親はとても親切で私はまるで自分が自分の家族と住んでいるかのようにその家族と暮らしました。

これらの日々の間に、私は高さ333メートルの東京タワーに行きました。そこから私は東京を見わたすことができ、富士山も見ることができました。それはとてもきれいでした。私は東京ディズニーランドに行き良い時間を過ごしました。私は2日間京都に行きました。京都では私は清水寺と三十三間堂、そして二条城に行きました。私はPremier Zhouにも行きました。私はたくさんの紅葉を見ることができました。私は日本のいくつかの歴史を以前よりも理解しました。

私はこの学校に数日いました。私は本当に学校生活を楽しましました。この学校の先生方や生徒はとても友好的でした。先生は私と生徒に教えてくれて、私と一緒に勉強したり遊んだりしました。

私はこの学校の授業は私達の学校と少し違っていると思います。いつもは、私達の学校はもっと知識を勉強しますが、この学校は練習を多くします。体育の授業は私達のものほどきつありません。英語の授業は(私達よりも)オーラル・ワークに注意を払いません。そして(この学校の)生徒は宿題も少なくもって放課後は自由です。

私は自由な放課後を持つことが好きです。それで、私が好きなことをもつてできます。

時々、私は海外から来たことが信じられなくなります。なぜなら中国と日本との間にはたくさん同じことがあるからです。例えば、私達はアジア人であるし、同じ黄色の肌や黒髪や黒い瞳を持っている。私達は米を食べ、はしを使う。日本人は中国人と性格が似ているところがたくさんある。日本は中国にとっても近い。だから中国人と日本人は友達であるし、東京と北京も友達、中国と日本は永遠に友達です!

陳怡
北京Huiwen高校

※Premier Zhou……不明。直訳すると「首相の像」。だれか偉い人の像と思われる。

東京新聞 10月31日(火)朝刊

コラムの王様

執筆大募集!!

ペンネームも受けつけます。
希望者は生徒会室新聞小委員会まで

独特の雰囲気と漂わせる方
であった。新聞記者には取材に
必ずといっていいほど携帯さ
れているメモ帳だが、上田氏
は、B5のノートを携えてい
た。印象的な人物であった。
スタジオ見学を経て、広報
室次長との懇談に。同行して
いたすばらしく積極的な男子
が一生懸命に質問を浴びせか
けていたが、次長はともも上
手な切り返し方で、いつのま
にか、NHKを賞える口調に
なっていた。どんな質問で
も一様にNHKの長所へとつ
ながってゆく。取材慣れた
答え上手といったところか。
東京本社内では、印刷室の
見学と局長・部長との懇談、
挨拶が行われた。お弁当も支
給されたのだが、これが超豪
華。弁当とは思えない華やか
さ、大きさ、美味しさ。印刷
室の機械は騒音を響かせなが
ら、一日中動いていた。日に
何万部の新聞を出すのだ。
当然といえば当然の話である。
各部長、編集局長、総務局長
との懇談で、新聞の「マスマ
ディア」の中に位置するコロ
ンとか、女性記者の採用につ
いては、社内見学のときに
各部で何人かの女性に会った。
世界、世間に先駆けて真っ先
にそういったことを認めてい
るのだ。
始めのうちは、軽い気持ち
で引き受けた仕事ながら、事
の重大さに、後々になって気
が付き、

読者の方々も、毎日の新聞
を、ただ漠然と読むのではな
く、文字の向こう側にいる人
間のことを考えて読んでみて
ほしいかな。



今年のプロ野球
ドラフト会議にお
いて史上三位の七
球団の競合となっ
た福留孝介選手の
去就が注目されて
いる。本人は巨
人・中日入りの希
望だが交渉権を得
たのは近鉄。巨人
中日以外であれば
日本生命入りの
という希望をおそ
らく背負う。

一方、横浜指名一位の細見
投手のように逆指名で希望球
団に入団する選手もいる。
一九九三年、プロ野球が逆
指名を認めるドラフト改正を
提案したのは、Jリーグでは
自由にチームを選ぶことができ
るのに野球はできない。とい
う危機感からだった。それ
で社人・大学生で一・二位
指名に限って逆指名が認めら
れることになった。しかし高
校生に関しては、高野連が「全
国で加盟四千校を越すため、
時間的問題から、全校に逆指
名を周知徹底させるのは難し
い」としたため、実施が見送
られた。

この時は、近いうちに準備
が整えられ認められるだろう
との予想もあったが、その後
今まで高野連は逆指名を認め
る動きを見せていない。
この理由については、幾つ
か考えられる。一つは、高
校生が未成年であることだ。希
望や夢は尊重させたいが、親
や周囲の声に影響され、正し
く反映されない恐れがあるの
である。また、金銭問題もあ
る。高校球界に金銭問題が入
り、一年・二年のころからア
タックすることになると、秩
序が乱れてしまうだろう。
福留選手の前にも、プロ入
り拒否を表明していた城島選
手(現ダイエー)の問題があ
った。これらを一っくくア
していき、少しずつ理想の形
へ近づくことを期待している
ことができるなら全ての選手
が、自分の夢を実現できる、
そんな形にして欲しい。 S

考察

正門前踏切の混雑緩和の方法

朝、校門前の踏切に泣かされた人はどれだけの人がいるのだろうか。前が詰まっていて踏切を渡れないもどかしさ。鳴り出す警報機。降り始める遮断機。あせり、そして絶望感。後悔する人。開き直る人。そんな光景を繰り返す大混雑の校門前踏切に何か解決方法はないのか。そこで私はいくつかの原因と対策を考えてみた。

混雑の原因

まず一つに踏切が渋滞時の抜け道になっていること。これは学園駅のすぐ西側にある大泉学園通りの踏切と、校門前の踏切の一つ東側の踏切が大渋滞することが原因となっている。

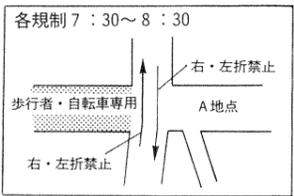
さらに通称「青線」の前から図のA地点までの道幅が狭く、駅からの大勢の通学者とすれ違いにくいこと。

そして校門前の踏切を混雑させている最も大きな原因は、A地点から踏切へ通る速反車の多さである。ご存じない方もいるかもしれないが、A地点では図のような規制が敷かれていて、A地点の北側、南側、西側からは校門前の道には入れない。西側は歩行者、自転車専用道になっている。その道路沿いの居住者の車両が踏切の方へ入ってくるかもしれないが、とても朝あれだけ行列をつくるほどの車があるとは思えないし、ましてや、2メートルトラックなどを持っている家などはどのくらいあるのだろうか。

対策

対策としては、まず一つに線路を高架にする、つまり今、練馬高野台と石神井公園駅の間に高架が架かるか終わらないかという所で、踏切が地下に車道を通す方式の立体交差にして、線路はそのままだ地上を通らせること。いるところである。駅が地上にあると、高架化が進んでも、校門前の踏切のあたりは高架が終わるか終わらないかという所で、踏切が地下に車道を通す方式の立体交差にして、線路はそのままだ地上を通らせること。

※練馬区で進めている、駅の北・南口を合わせた再開発プロジェクト。内容は駅周辺の道路拡張・区画整理、駅西側踏切の立体交差化、駅前ビル・バスターミナルの建設など。



を大泉学園まで伸ばすことである。そうすると踏切自体がなくなり、車の流れがスムーズになる。

しかし鉄道研究同好会の調査によると、大泉学園駅前の再開発計画では、学園駅は地上駅であり、駅の西側の踏切

踏切の北側にあるマンションの三階位まである。これの上を通す跨線橋を作っても、登るのはつらいし、反対側から人はくると幅は狭い、悪天候のときは傘などでもっとつらい。誰も通らないかもしれない。そこで地下道の出番。人や自転車線路の下を通るだけなので、天井も高くなくてよく、その分、高低差も少なくなる。幅も広くとれるし、排水溝さえしっかり作れば悪天候も問題ない。何よりも線路の北側の小さい土地を使うことを考えると、地下を通した方がずっと良いはずである。

ただ、地下を通した場合は、あの地下道特有の陰気な雰囲気と、そこにたまる人々への対策も必要になる。治安が悪くなってしまうかもしれないので、時間外は閉鎖といった処置も考えられる。また、周辺の騒音も問題の一つだろう。いずれにせよ、これらの解決方法は時間とお金がかかるが、もっと手つと早くできることは、速反車の取り締まり、踏切の拡張、そして大泉高生の自転車マナーの改善である。

速反車はA地点に一人だけでも警官をおけば無くなるだろうし、踏切を拡張して自転車専用レーンを広げれば、規制時間内は車は一方通行だから自転車・歩行者も方向別にわかれて踏切の両側を通れる。そして一番早くできることは、踏切を渡ったからといってスピードを落とさないことである。朝、踏切を渡ったからと安心してのんびりかかれば知らないが、話をしながら広がって、しかもゆっくりとこぐ人がいる。しかし、その人の後にまだ渡り切っていない人がいる。こんなことをしていれば、混雑の当り前。駅からの通学者も校門前が昇降口にかけて道いっぱいになり、自転車の通行の妨げとなりよろし

くない。せめて道の半分は空けておいてほしい。そうすれば自転車の流れもいくらかスムーズになるはずである。

さらに登校時間を混雑時間から少しずらすことも考えられる。少し早く登校すると、あまりオススめでないが少し遅く(といっても授業に間に合うように)登校したりすると、とにかく色々な方法がある。

さて正門前踏切の利用者の皆さんはどんな方法が良いと思いますか。

チャレンジ！正月料理

牛肉巻き

お弁当のおかずにもどうぞ

調理時間40分

材料 (4~5人分)
牛うすすり肉 350g
(こま切れ肉でない方がよい)
ごぼう 中1本
アスパラガス 4本
にんじん 中1本
だし汁 1/2C
しょうゆ 大2
みりん 大1
砂糖 大1

①下準備 ゆでる時は沸騰した湯の中で、塩をひとつまみ入れる。
ごぼうは包丁のみねで皮をこそぎ取る。
二つ割りにする。
さらに三等分にし半分の長さに切る。

②煮だし汁で煮る だし汁を沸騰させて、肉巻きを入れ煮る。全体に煮汁がかかるように鍋をゆすりながら煮るとよい。(中火)

③切って盛り 切った肉巻きを盛り付ける。

つか論

「つかこうへい」。みなさんはこの男をご存じでしょうか。本名 金峰雄一。在日朝鮮人。演出家であり作家である。作家としては、「直木賞」を受賞している。なかなかのものである。演出家としての活動は、私はほとんど知らない(実にいかげんなことだが)。まっ、そういう訳なので、ここでは「作家」としての「つか」について書くことにしよう。

彼の作品の多くは、小説とエッセイである。小説の代表作は、「蒲田行進曲」、「幕末純情伝」、「つか版・忠臣蔵」などがある。エッセイでは、「つか

かへい腹黒日記」、「傷つことだけ上手になつて」(私はこれが一番気に入っている)などである(今紹介した作品はいずれも角川文庫より出ている)。

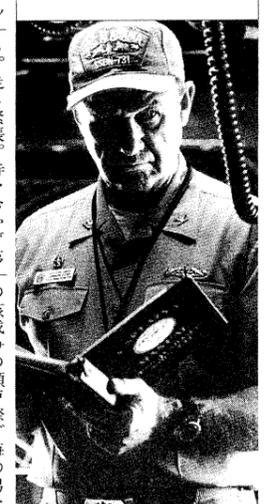
なぜか、「つか」の作品は、小説よりもエッセイの方が売れるらしい。「つか」のエッセイは、自分でも言っているように、グチの羅列であることには、一度読んでみるとわかる。ならばわかるだろう。私は、そのグチがたまらなく好きで、わがままの結晶であると言えよう。わがままと高慢とでてきている言葉が「つか」

の持ち味であり、多大なるファンを獲得する要因であろう。そして、その言葉一つ一つに、むかつき、納得し、笑い、感嘆する。その繰り返しが面白味でもある。

しかし、「つか」ほど好き嫌いがはっきりした作家もいないだろう。好きな人は、おもいっきり好きだし、嫌いな人は、本当に大嫌いだ。やが、嫌いな人というものは、「つか」の一字一句の高慢さ、読んでいられるうちに耐え切れなくなっていくのだろう。しかし、その高慢さに耐え切った時、先に述べたような面白味が全身を駆け巡っていくことだろう。

たまに、「つか」の考えと自分の考えとが一緒である時がある。その時、私は、自分が

映画紹介 『クリムゾン・タイド』



主演俳優に、ジーン・ハックマン、デンゼル・ワシントンという2大スターの繰り広げる対立劇。監督は「トップガン」のトニー・スコット。時は現在。ロシアの過激な愛国者が、軍反乱派と結託し、核ミサイル基地を占領した。緊急パトリールに出動したのが、アメリカの戦略体系の頂点に位置する、弾道ミサイル「トライデント」24基搭載のオハイオ級戦略原子力潜水艦アラバマ。

艦長は歴戦の叩き上げハックマン扮するフランク・ラムジー大佐、そして副艦長として乗り込んだのがハーバード大卒のエリート、ワシントン演じるロン・ハンター少佐。核に対する思想で真向かい対立する2人の指揮官。やがて本国から核攻撃命令が下り、硬を迫るラムジー。一触即発

る。走る緊張。時をおかず第2の指令。しかし通信は途中で遮断され、攻撃継続を意味した命令変更が、命令変更がはつきりしない。

いくつもの戦いを切り抜けてきた本艦で攻撃態勢を指示するラムジーと、命令の再確認を強く要求するハンター。密閉された空間に異常な緊張と混乱が生じ、乗組員たちもラムジーへの忠誠心か、ハンターに内通を疑うか、どちらかという日常の描写が効果を上げていく。原潜は潜航したまま、何ヶ月も海面下で行動するため、居住空間にはこのほか注意が払われる。

「クリムゾン・タイド」では、極限状況の下でも人間は人間でなければならぬ、というメッセージがあつたような気がする。ぜひ見てほしい一作だ。

STAFF

○編集班
編集長 山田 淳一

○編集員
佐野 祐介
佐藤 乃規
島崎 幸子
富田 美穂
伊達 千賀

○協力
文化祭実行委員会
団体局局長
演習局局長
PR局局長
マスコット委員長
美術部部長
野球部
顧問 原浩司先生
監督 戸田敬久氏
部長 岩田賢太郎君
陳 怡さん
家庭科 斎藤弘子先生
鉄道研究同好会
写真部
校長 吉野尚也先生
都立工芸高校生徒会

○記者
一 佐藤康佳・E
二 佐野祐介・N
三 佐藤乃規・S
四 長塚敏弘・T
五 島崎幸子・F
六 山田淳一・C
七 師岡良之・M
八 富田美穂・O
九 伊達千賀・D

道あれこれ

第二回MTBで行く

旧甲州街道・小仏峠

朝六時二〇分、大泉を自転車で出発する。保谷経由で田無まで出て、そこから青梅街道と立川通りを走り、立川から国道20号線(甲州街道)を通過して八王子に行く。二時間時刻は八時二〇分だった。

季節柄少し悪臭が漂う。小仏峠に設けられ、富士見閣とよばれた。その後、北条氏が滅亡し、徳川幕府により甲州街道の重要な関所として現地に移されるとともに整備された。現在、小仏関跡の周辺は駒木野と呼ばれている。

越後山脈の麓で育った山猿である。父は、敵に首を切られ、百里を歩いて相手を噛みつけたという中国の春秋戦国時代の、尚、という武将に魅かれた。次男の私に尚也と名付けた。その名の通り、少年時代は上級生とケンカをしても下駄を振りかざして殴りかかるほどの暴れん坊であった。

高校はローカル線に乗って三十分、柏崎市にある旧制中学の流れを汲む男子校、東立高校に通った。

他校紹介

都立工業高校

去る11月4日、都立工業高校の文化祭をたずねた。

この高校には5つの科がある。アートクラフト、マシンクラフト、インテリア、グラフィックアート、デザインがそれぞれある。そしてそれぞれの科で違った専門知識や技術を学んでいる。例えば、アートクラフト科では身近な工芸品のデザインから製作までの理論や技術などの授業があり、1年では授業数の3分の1、3年では半分以上を占める。1学年につきそれぞれの科のクラスが1つづつあり、つまり5クラスである。1クラスの人数は約40人で、マシンクラフト以外は、女子の人数の方が多いのが特徴である。そのような少人数制で、女子の人数が多いのが特徴である。そのような少人数制で、女子の人数が多いのが特徴である。そのような少人数制で、女子の人数が多いのが特徴である。

この文化祭は、普通高校とは違い展示が中心になっている。生徒が授業の中で作ったポスター、卓上ベル、ワイナングラス、ティーカップ等々、どれもみな素晴らしいものばかりだった。他に、生徒の作品を販売しているところもあった。指輪、ネックレスなどで、毎年人気ですぐに売り切れてしま

朝の幅が互いにすれ違えるほどではない。ふと脇に目をやると青い三角柱に白字で都188と6と書いてあった。都道188号線、起点西浅川から6kmの意味だろうか。そして八王子から一時間、ようやく標高500mの小仏峠に着く。昔関所があったこの峠には、今は二軒の茶屋と明治天皇が全国を巡幸したときの小休息所の碑があるのみ、樹木に覆われた峠からは富士山は見えなかった。

小仏峠の名の由来である一寸八分の小さな仏像が峠から麓のこの辺りに移されていると文献にはあるが、自転車長距離の性質上、探す時間も無ければ余裕も無かった。さらに登ると蛇滝口というバス停がある。この辺りに来ると「圏央道反対」という看板がやたらと目につく。これは首都圏中央連絡道(米春鶴ヶ島IC―青梅IC開通予定)を青梅から南へ伸ばし高尾で中央道とつなげるという計画に

対し、高尾山の自然が壊され、地元住民や自然保護団体が反対している。声である。人は必要とあらばどんな所でも道を通してしまおう。しかし白神山の春秋林道のように自然保護の観点から建設中止になる場合もある。この場合果してどうなるか。また、このような声がほとんど無視されがちなことも事実ではあるが……

そのようなことを考えながら、道を舗装から砂利へと変わる。バスは中央線のトンネル口あたりまでなのに対し、クレーンがこまめに上がっていく。息切れしながら自転車を押す。ここのは4.5km急坂

もしない間に三年生になってしまった。祖父と母が仲に入り父に詫言、一応家に戻ることになったものの、私は一日も早く自立したかった。担任との個人面談では、就職ですと

やがて、木枯しが吹き雪が降る。北国の冬が来た。しかし、マントも外装も無く、祖母の手縫いの綿入半纏を羽織って登校し、同級生から大笑いされる始末だった。ところが、父はなかなか許してくれず、私も素直に謝ろうと

工業が専門なのでそれぞれ作業に使用する機械の設備がかなり整っている。地下には(地下2階まである)巨大な工場のような場所があり、他にも多くの種類の設備があった。校風はかなり自由で、規則も一般常識程度だそう。一つの科につき1クラスという関係上3年間クラス替えはない。担任も変わらないので先生とも仲が良く、友達感覚というところがある。工業高校の卒業生の大部分は就職し、多

は横を中央線が走っている。右上方には中央道の高架が見える。さらに中央道の小仏トンネルの入口と同じ高さまで登る。すでに中央線はトンネルに入ってしまった。しかし旧街道は峠まで登りきらずにはならない。

道は舗装から砂利へと変わる。バスは中央線のトンネル口あたりまでなのに対し、クレーンがこまめに上がっていく。息切れしながら自転車を押す。ここのは4.5km急坂

はつきり答えたのである。進学校で就職者は一、二名しかいなかった。冬のある日、町の肉屋で伯父に腹一杯スキヤキを馳走になり、「就職は何時でもできただろう」とすすめられた。

私がこの大泉高校に入学して、何となく、少し学校に馴染んでいく。でも私を含めほとんどの中野区民は「江古田」を「エゴタ」と言う。なにが理由か、それは「エゴタ」として納得してしまっている。確かに「エゴタ」という地名は、「エゴタ」が多かったからついた名前(だったはず)です。という話は、やっぱ「エゴタ」の方が正しいと思いませんか？

中央道と中央線が下を走っている。圏央道とのJCTができて旧道は変わらなくなった。今、国道20号線は南の大垂水峠に車を走らせている。小仏峠を通る人は高尾から景信山への縦走者や、小仏峠から登山を開始する人、峠を人だにぎわう陣馬山山頂。小仏峠とは対照的だった。

登り、反対側へ下って行く人は私と同行の友人の二人しかいなかった。小仏峠着が九時二〇分だった。たの友人と私は相模湖から藤野まで出て、そこから陣馬街道(全舗装)を通り和田峠八王子という道をとった。標高680mの和田峠(高尾山は599m)に登るとき富士山が見えた。峠に自転車を置き陣馬山(857m)に行きかけの駅で登ったが、既に富士は見えなかった。一三時三〇分に峠を降り、大泉に着いたのは一六時二〇分頃だった。走行距離は約110km、峠を二つ越えるこのコースは、自転車慣れた人に勧められる。C

朝の小仏峠

中央道と中央線が下を走っている。圏央道とのJCTができて旧道は変わらなくなった。今、国道20号線は南の大垂水峠に車を走らせている。小仏峠を通る人は高尾から景信山への縦走者や、小仏峠から登山を開始する人、峠を人だにぎわう陣馬山山頂。小仏峠とは対照的だった。

登り、反対側へ下って行く人は私と同行の友人の二人しかいなかった。小仏峠着が九時二〇分だった。たの友人と私は相模湖から藤野まで出て、そこから陣馬街道(全舗装)を通り和田峠八王子という道をとった。標高680mの和田峠(高尾山は599m)に登るとき富士山が見えた。峠に自転車を置き陣馬山(857m)に行きかけの駅で登ったが、既に富士は見えなかった。一三時三〇分に峠を降り、大泉に着いたのは一六時二〇分頃だった。走行距離は約110km、峠を二つ越えるこのコースは、自転車慣れた人に勧められる。C

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

青春雑感

校長 吉野尚也 先生

「故郷と父」

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やかし、好き勝手に育てたら、きっと今の自分はないと思うからである。今年の夏は暑さに耐えられなかった。秋の連休に妻と二人で、田舎の父の墓を、そして故郷の山を、紅葉の越後路を歩いた。

父の愛がわかったのは最近である。もし、私を甘やか